

平成28年度 「教育活動保護者アンケート」への回答

練馬区立石神井台小学校

●土曜日に学校公開しているが、授業内容を親が見ていて子供の様子が分かるものにしてほしい。学校公開が土曜日だと3時間しか授業がなく、兄妹がいる場合ゆっくり見ることができないので、平日にも行ってもらいたい。当日はドアを開けて入りやすくしてほしい。

⇒ 練馬区で定められている毎月第2土曜の学校公開は、今年度と同じように行います。平日の授業参観は3回予定しています。担任には参観しやすいように後ろのドアは開けさせます。

●先生方の「研修」が多い。子供たちの貴重な学習時間を削ってまで頻繁に行う必要があるのだろうか？

⇒ 本校は教員研修が充分できるように、年間授業時数を確保しています。研修したことがお子さんの成長に結びつくよう努めます。

●色々な学年の子供とも遊んだりしてコミュニケーション能力をつけてほしい。自分の意見を発表することが上手になってほしい。

●宿題の量をもう少し増やし、学力を上げていくきっかけの一つにできたらよい。

●石台小を会場とした漢字検定をやってほしい。

⇒ 平成29・30年度は、練馬区教育委員会研究指定校となりました。国語科の研究を行います。語彙を増やすという意味でも漢字検定を検討していきます。その際は、ご協力お願いします。毎日の家庭学習は「10分×学年」を継続します。

●欠席の時に連絡帳を頼める人がいないので電話での連絡も可能にしてほしい。

⇒ 緊急な場合は電話で結構ですが、原則は連絡帳でお願いしています。「石台小のきまり」でも明記しています。

●1クラスの児童数が多いため担任の先生の負担が大きく目が行き届きにくい。学校の先生の人数を増やしてもらいたい。

⇒ その通りですが、教員は決められた人数しか配置してもらえません。

●学童の需要があるのに（今後増加）対応が遅れている。改善してもらいたい。（学校内の学童に通えない等、不便になっていると聞いている）

⇒ その通りですが、学童に関する要望を学校からすることはできません。練馬区で決められたことを粛々と進めます。

●トイレ改修工事について、「男子トイレ」が個室化されていないという点でがっかりした。他の学校では「男子トイレの個室化」は進んでいると聞くが、石台小の判断なのか、それとも、練馬区の判断なのか。

⇒ 学校、練馬区、専門業者で総合的に判断しました。

●小さな怪我は構わないが、頭をぶついたり頭に衝撃を受けた時、通院が必要な怪我等があった場合は連絡を頂きたい。

⇒ 学校から連絡が無かったこと、申し訳ありませんでした。連絡すべき怪我については、お子さんからでなく学校から第一報を入れるよう努めています。必要であれば、担任が送っていくこともしています。今後、徹底していきます。

●石台はあまり広くない学校なのに近年児童数が多いので、近隣の学校とバランスがとれたらと思う。

●近隣の学校と学区の関係で生徒数に差があることもあり、石台小の人数が増えすぎない方がより充実した学校生活を送れるのではと思います。

⇒ 学校施設の面（教室数など）でも、児童数増加には対応できない状況ですので、練馬区教育委員会と連携を図っていきます。来年度は18学級でスタートする予定です。

●身近なトラブルが陰湿ないじめに発展していかないように、しっかりした対策をしてほしい。

●たまにいじめの話を目にするが、そのようなことのない石台小であってほしい。

●学級の子が口が悪く不親切に感じている。担任の先生には子どもが感じていることを伝えているので改善していくことを期待している。

⇒ いじめは未然防止が第一だと考えています。毎月、校内のいじめ対策委員会で情報交換したり、児童対象のアンケート結果から対応を練ったりして「いじめの芽」を摘むように努めています。来年度も、児童向けと保護者向け調査を続けます。

●防犯上・安全上なのだと思うが、寒い日、雨雪の日に8時15分まで外で待っている姿を見ると気の毒になる。そのような時だけでも早く校舎に入れさせてほしい。

⇒ 今年度も雪や大雨の日には、早めに校内に入れるようにしました。

●関中学校や練馬安全メールで届いた不審者情報が石神井台小からは何も情報がなく不安な思いをされていた保護者がいた。学校同士連携をとってほしい。

●夏～秋にかけて不審者が頻発していた。問題が生じてからでは遅いので、下校時刻をそろえたり集団下校を促したり何らかの対策を講じてほしい。

⇒ 練馬区危機管理課からの情報は、配信メールでお知らせしています。できる限り漏れないようにお伝えします。

●今年から面談が夏休みあけということもあり、学校生活の様子や家での状況を先生に相談する時期がおそいので不安が強かった。できれば1・2学期にそれぞれ面談があればいろいろな行事を話し合ったりお互いに情報の共有が行えよりよく子どもに接することができるのではと思う。

●各ご家庭の様子を知るためにも家庭訪問があった方が良い。学校と離れた場の方がリラックスしてお話しできる保護者もいると思う。

●個人面談が年に一度だったが、1年生の時みたいに1年間に2回あったらいいと思う。来年度また担任の先生が変わってしまうのであれば、春にも面談があ

ると嬉しい。

⇒ 来年度の個人面談は6月に予定します。個別に必要な面談は長期休業中にも実施します。

●保護者にとって学校の取組など学校教育に関する様々な事柄は主に担任の先生によるものが大きいと思う。個々の先生の個性はあってしかりだが、経験の浅い先生の教育・指導方法などきちんと見極め足りない部分などしっかり補っていただけるとありがたい。

⇒ 学級が生活の単位であることは間違いありませんが、学年のお子さんは学年の担任全員で育てていくようにしています。学年合同授業や担任同士の交換授業なども行っています。若手の教員には他の教員の授業を参観する機会を設けています。今後も学校全体で考えていきます。

●もっと保護者と先生が話す機会が増えればと思う。

●保護者会が学年全体のことが多いので同じクラスの保護者が誰かわからない。

●平日の13時台に実施される保護者会には仕事の都合上参加できず15時以降や土曜日などの実施もご検討いただきたい。

⇒ 基本的に保護者会は14時40分頃から始めます。来年度は個人面談を第2土曜日の午後にも設定します。

●相談室で授業を受けるお子さんが給食だけは教室に戻ってとらないといけないというルールは本当なのか？教室にいられない(いたくない)から相談室に登校しているのに、給食の時間は自分の教室に戻るとするのは子どもにとって酷だと思う。再考をお願いしたい。

⇒ 上記でご指摘のようなルールはありません。教室以外の部屋で給食を食べる場合は、心のふれあい相談員や生活支援員が付き添っています。

●授業をきちんと受けられる様をお願いしたい。(騒いでいる男子が数名いる)先生に対する言葉遣いが悪いと耳にしている。

⇒ 学習ルールについて年度当初に徹底させていますが学級によっては不十分だと感じています。生活指導主任や管理職からの指導も続けていきます。

●どんどん簡素化されていく行事や授業(人員減少に対しての簡略的措置等)に不安を感じる。

⇒ 授業の簡素化は、どの学校においてもあり得ません。ただし、行事については見直しが必要です。子どもたちが楽しみにしている行事が多いので、できるだけ継続していくように計画しています。来年度から外国語活動の時数が増えます。将来的には7時間目の実施があるかもしれません。来年度は第2土曜日の4校時に委員会を行います。

●職場の取引先では優秀な外国人社員が増えているのでぜひ学校でもアクティブラーニング、プレゼン指導など導入をお願いしたい。

⇒ 平成29・30年度は、練馬区教育委員会研究指定校となりました。国語科の研究を行います。自分の考えをはっきり言えるような児童を育てたいと思います。大学の先生からアクティブラーニングについても指導を受けています。

●一時期、子供の友達関係について悩んでいた時に、心理の先生に相談しようと思ったが、日中、仕事をしていることもあり、電話してもタイミング合わずあきらめたことがあった。直接話せばいいのだがメールやノートなど気軽に時間を気にせず相談できる環境がほしい。

⇒ まずは、スクールカウンセラーと顔を合わせてくださると助かります。家庭・お子さん・スクールカウンセラーの信頼関係ができてからは様々な方法が見えてきます。

●父母と教職員の会の活動が重すぎる。平日の昼間に無理なく活動できる保護者が今の時代どのくらいいるのか考慮し、活動を減らしたり平日でなく土曜にするなど対策をお願いしたい。(フルタイムで仕事をしていると参加したくても 事実上は無理な場合が多い)

⇒ 父母と教職員の会については様々なご意見があります。運営委員長様を中心に毎年改良を加えていただいています。3学期には、運営委員・世話人の皆様にも改善策を検討していただいています。

●全国的な小学生（公立）の学力レベルと子どものレベルを知りたい。

⇒ 練馬区では、5年生が東京都の学力調査、6年生が全国の学力調査を行っています。1～4年生は実施していません。もし実施するとなると私費負担となりますので、現在は実施の予定はありません。

●教育活動で行うなら5・6年で職場体験をさせることもよい。

⇒ 6年生が高齢者福祉施設にお邪魔して職場体験に近いことは実施しています。100名以上の子どもがそれぞれに分かれて職場体験するという環境を整えることが大きな課題です。

●省略できる手紙類は省略又は簡略化し先生方には授業準備の時間に充てていただきたい。放課後や春休み、夏休みに保護者がボランティアをやるシステムがあっても良いと思う。遅れている生徒と一緒に漢字テストの対策や九九の練習、音読など。担任の先生だけでは負担が大きすぎるのでみんなで子供たちを教育・育成できればご家庭による差の溝も減ると思う。

⇒ 温かいお気持ちに感謝いたします。仰るとおり「授業の充実」が第一だと考えます。来年度は練馬区教育委員会研究指定校として国語科の授業改善に取り組みます。

●漢字学習の仕方に疑問を感じている。意味のないことにあまりにも時間をさいている気がしてならない。例えば辞典で調べても指定の数の熟語が見つからずインターネットまで駆使して調べる必要があるのか？それが子供に教えるべき語彙と言えるのか？目的が分からない。

⇒ 新学習指導要領でも「語彙を増やす」大切さが示されます。ただ闇雲に取り組むのではなく、学年に合った調べ学習について検討させていただきます。

●1年生は1年間の学習量に余裕があるのでプラスαの学習（百ます計算、書写の充実）を取り入れてほしい。宿題も少ない。

⇒ 1年生は学習内容を習得する時間に個人差が大きいので、少しゆとりを持って指導していることは事実です。早めに作業・学習課題が終わったお子さん

には次の課題を示すようにしています。学校として「10分×学年」の家庭学習は徹底させていきます。余裕のあるお子さんには自主学習を勧めています。

●自分が小学生の頃には、朝早めに登校して校庭で自由に遊べる時間があつた。体力・運動能力向上のためにも早起きのためにも取り入れてはいかがか。

⇒ 近隣の学校で行っていることは存じ上げています。体育科の研究（教員対象）に合わせて実施し効果があつたとうかがっています。

●ぜひ、すべての学級で週単位での「学級だより」発行を希望する。

⇒ 学年・学級だよりが学校からの情報発信として有効だということは認識しています。学年だよりは毎月必ず発行、学級だよりは努力目標と話しています。